

令和 2 年度

城下まちづくり未来会議総会議案書

城下まちづくり未来会議

令和2年度 城下まちづくり未来会議総会 議案書

1 城下まちづくり未来会議

第1号議案	令和元年度 城下まちづくり未来会議事業報告	・・・	1頁
第2号議案	令和元年度 城下まちづくり未来会議決算報告 監査報告	・・・	3頁
第3号議案	城下まちづくり未来会議規約の変更	・・・	4頁
第4号議案	令和2年度城下まちづくり未来会議役員改選(案)	・・・	6頁
第5号議案	令和2年度城下まちづくり未来会議事業計画(案)	・・・	7頁
第6号議案	令和2年度城下まちづくり未来会議予算(案)	・・・	8頁
参考	城下まちづくり未来会議規約(変更前)	・・・	11頁

2 城下地区自治会連合会

第7号議案	令和元年度城下地区自治会連合会事業報告	・・・	14頁
第8号議案	令和元年度城下地区自治会連合会及び城下地区防災センター決算報告 監査報告	・・・	19頁
報 告	令和2年度城下地区自治会連合会役員について	・・・	21頁
第9号議案	令和2年度城下地区自治会連合会事業計画(案)	・・・	22頁
第10号議案	令和2年度城下地区自治会連合会及び城下地区防災センター予算(案)	・・・	23頁

3 城下地区社会福祉協議会

第11号議案	令和元年度城下地区社会福祉協議会事業報告	・・・	25頁
第12号議案	令和元年度城下地区社会福祉協議会決算報告 監査報告	・・・	27頁
報 告	令和2年度城下地区社会福祉協議会役員について	・・・	28頁
第13号議案	令和2年度城下地区社会福祉協議会事業計画(案)	・・・	30頁
第14号議案	令和2年度城下地区社会福祉協議会予算(案)	・・・	31頁

4 城下地区防犯防災協議会

第15号議案	令和元年度城下地区防犯防災協議会事業報告	・・・	32頁
第16号議案	令和元年度城下地区防犯防災協議会決算報告 監査報告	・・・	37頁
報 告	令和2年度城下地区防犯防災協議会役員について	・・・	38頁
第17号議案	令和2年度城下地区防犯防災協議会事業計画(案)	・・・	39頁
第18号議案	令和2年度城下地区防犯事業予算(案)	・・・	42頁

5 城下地区環境建設協議会

第19号議案	令和元年度城下地区まちづくり協議会事業報告 (参考資料-1)	・・・	43頁
報 告	令和2年度城下地区環境建設協議会役員について	・・・	46頁
第20号議案	令和2年度城下地区環境建設協議会事業計画 (案) (参考資料-2-3)	・・・	47頁

第1号議案

令和元年度城下まちづくり未来会議事業報告

1 総括

「城下まちづくり未来会議」が設置され3年目を迎える中で、城下地区住民の皆様の御支援、御協力をいただき「安全・安心で住み良い城下地域」の実現を目指して、事業計画に沿って各種事業に取り組みました。

一方において、令和元年10月に発生した台風19号により当地域においては、甚大な被害が生じました。災害復旧・復興に向け上田市はじめ関係機関に緊急要望活動等を行いました。これらの活動を通して非常時に備えた日頃の取り組みの重要性を強く認識いたしました。

2 事業計画に基づく事業等

(1) 令和元年度城下まちづくり未来会議定期総会の開催

6月15日(土) 城下地区防災センターにおいて、土屋陽一上田市長はじめ来賓12名のご臨席を賜る中、役員・代議員42名が出席し、全ての議案について御承認をいただきました。

議事終了後の懇談会において、令和元年度要望書を上田市、長野県、長野県上田建設事務所、上田市社会福祉協議会等関係機関・団体の代表に手渡しました。

総会終了後の懇親会においては、和やかな中で懇親、交流を深めることができました。

(2) 城下まちづくり未来会議定例役員会の開催(7月～12月 6回開催)

(3) 城下まちづくり未来会議拡大三役会の開催(4月～3月 随時開催)

(4) 上田市住民自治組織の全体会議に参加(7月1日 中央公民館 会長他3名出席)

(5) 城下まちづくり住民アンケートの実施

城下地区全自治会の御協力をいただき実施いたしました。本アンケートの結果（住民の皆様からお寄せいただいたご意見、ご要望等）を参考にいたしまして、「城下まちづくり計画」の作成をまいります。

(6) 令和元年度まちづくり講演会への参加（令和2年1月31日 文化会館ホール）

台風19号災害の発生を踏まえて、地域づくりを豊かにするヒント「郷土史防災のススメ」の講演会が開催され、役員が出席しました。安心・安全な地域づくりを進めるための参考となりました。

3 台風19号災害復旧に向けた取り組み

(1) 台風19号災害に伴う対応についての要望書の提出

令和元年11月11日、台風19号で被災した千曲川左岸堤防や上田電鉄別所線の早期復旧、城下地区水路計画の早期実現など13項目についての対応を求める要望書を土屋陽一上田市長に提出しました。

(2) 千曲川堤防復旧工事等説明会の開催

(1)の要望を踏まえ、本年2月19日駅前パレオビルにおいて千曲川堤防及び上田電鉄別所線復旧に係る工事説明会が開催され、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、上田市都市建設部土木課、交通政策課、上田電鉄株式会社等の関係者から工事概要、今後のスケジュール等について説明を受けました。

説明後の質疑の場において、城下まちづくり未来会議役員が積極的に質問を行い、今後の対応等について改めて強い要望をいたしました。

第2号議案

令和元年度城下まちづくり未来会議収支決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

会長 沓掛 勝也

会計 今井 洋幸

収入総額	3,304,824円
支出総額	3,304,797円
差引金額	27円

(収入の部)

(単位：円)

科 目	項 目	予算額	決算額	差引額	摘 要
1. 交付金	交付金	3,500,000	3,304,797	-195,203	
(交付金返戻)			(-195,203)		
2. 雑収入	雑入	987	14	-973	利子
3. 繰越金	繰越金	13	13	0	
	合 計	3,501,000	3,304,824	-973	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	項 目	予算額	決算額	差引額	摘 要
1. 運営費・活動費	報酬	327,000	304,000	-23,000	役員手当 未来287千 まち協17千
	賃金	960,000	1,026,410	66,410	事務局員賃金12ヶ月
	報償費	48,000	24,160	-23,840	研修費他
	旅費	120,000	25,677	-94,323	高速代、交通費他
	消耗品費	103,000	327,738	224,738	事務用品他
	燃料費	0	6,786	6,786	レンタル車両ガソリン代
	食糧費	50,000	84,328	34,328	お茶代
	印刷製本費	770,000	583,854	-186,146	総会32、まちづくり通信20、あいさつ6
	修繕料	40,000	10,982	-29,018	床修繕
	通信運搬費	140,000	112,646	-27,354	電話、ネット、切手代他
	手数料	5,000	3,903	-1,097	振込料他
	委託料	450,000	220,000	-230,000	環境整備・HPメンテナンス委託
	使用料及び賃借料	260,000	312,760	52,760	事務所賃借料・HPサーバーレンタル
	原材料費	60,000	12,568	-47,432	防災訓練原材料等
	備品購入費	50,000	238,285	188,285	パソコン、シュレッダー、プロジェクター他
	光熱水費	0	700	700	防災センター冷暖房費
	負担金	0	10,000	10,000	総会補助自治連へ
2. 予備費	予備費	118,000	0	-118,000	
	合 計	3,501,000	3,304,797	-196,203	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和2年4月4日

監事

北沢 隆

Ⓢ

監事

北沢 育夫

Ⓢ

第3号議案

城下まちづくり未来会議規約の一部変更について

城下まちづくり未来会議規約の一部を変更する規約を次のとおり定める。

城下まちづくり未来会議会長 沓掛 勝也

城下まちづくり未来会議規約中一部変更について

城下まちづくり未来会議規約(平成30年6月17日制定、平成31年6月23日一部変更)の一部を次のとおり変更する。

第6条第4号中「城下地区まちづくり協議会」を「城下地区環境建設協議会」に改める。

第9条第1項を次のように改める

役員の任期は、会長、副会長、会計及び事務局長は2年とし、委員及び監事は1年とする。ただし、再任を妨げない。

第11条第9項の別表中「城下地区まちづくり協議会」を「城下地区環境建設協議会」に改める。

附 則

この規約は、令和2年4月1日から施行する。

城下まちづくり未来会議規約変更新旧対照表

変更後	変更前
(構成団体) 第 6 条 まちづくり未来会議は、次の構成団体をもって構成する。 (1) 城下地区自治会連合会 (2) 城下地区社会福祉協議会 (3) 城下地区防犯防災協議会 (4) 城下地区環境建設協議会 (5) その他会長が必要と認めた部会及び委員会 (役員の任期) 第 9 条 役員の任期は、会長、副会長、会計及び事務局長は<u>2 年とし、委員及び監事は 1 年とする。ただし、再任は妨げない。</u> 2 役員に欠員が生じた場合は補充することができる。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。 3 役員の任期が満了したときは、当該役員は、後任が任命されるまでは、引き続きその職務を行うものとする。 別表 (第 11 条 第 9 項関係) *関係部分のみ記載 イ 城下地区環境建設協議会	(構成団体) 第 6 条 まちづくり未来会議は、次の構成団体をもって構成する。 (1) 城下地区自治会連合会 (2) 城下地区社会福祉協議会 (3) 城下地区防犯防災協議会 (4) 城下地区まちづくり協議会 (5) その他会長が必要と認めた部会及び委員会 (役員の任期) 第 9 条 役員の任期は、<u>2 年とする。ただし、再任は妨げない。</u> 2 役員に欠員が生じた場合は補充することができる。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。 3 役員の任期が満了したときは、当該役員は、後任が任命されるまでは、引き続きその職務を行うものとする。 別表 (第 11 条 第 9 項関係) イ 城下地区まちづくり協議会

第4号議案 城下まちづくり未来会議役員名簿(案)

任期：令和2年年4月1日～令和3年3月31日

(敬称略)

番号	役 職 名	氏 名	所属団体等	自治会
1	会 長	沓掛 勝也	元自治会連合会会長	御所
2	副 会 長	増澤 吉雄	元自治会連合会会長	中村
3	副 会 長	小坂井 正明	防犯防災協議会	御所
4	副 会 長	小野澤 義和	環境建設協議会	中村
5	事務局長	中澤 照夫	自治会連合会	中之条
6	会 計	今井 洋幸	自治会連合会	諏訪形
7	委 員	片岡誠一郎	自治会連合会	小 牧
8	委 員	細川 義雄	自治会連合会	諏訪形
9	委 員	手塚 三博	自治会連合会	須 川
10	委 員	渡邊 規夫	自治会連合会	中 村
11	委 員	川口 博司	自治会連合会	朝日ヶ丘
12	委 員	中澤 史朗	自治会連合会	三好町
13	委 員	田玉 治實	自治会連合会	御 所
14	委 員	西澤 信義	自治会連合会	中之条
15	委 員	鋒城 康弘	自治会連合会	千曲町
16	委 員	竹内 久子	社会福祉協議会	朝日ヶ丘
17	委 員	山口 節美	社会福祉協議会	御 所
18	委 員	小林 久敏	防犯防災協議会	諏訪形
19	委 員	手塚 博明	防犯防災協議会	須 川
20	委 員	高橋 義幸	社会福祉協議会	中之条
21	委 員	西入 直喜	環境建設協議会	小 牧
22	委 員	海野寿美子	環境建設協議会	千曲町
23	監 事	岡部 昭男	自治会連合会	御 所
24	監 事	柴田 大八	自治会連合会	千曲町

1	顧 問	小坂井 二郎	市議会議員	中之条
2	相 談 役	宮下 省二	市議会議員	諏訪形

1	事 務 局	山崎 洋子		
---	-------	-------	--	--

第5号議案

令和2年度 城下まちづくり未来会議事業計画（案）

1 安全安心な地域づくりの推進

城下地域の9自治会と連携を密にし、各種団体の協力を得て地域の課題解決にあたり、各自治会の枠を超えた広域的な視点で、安全・安心な地域づくりの推進に努めます。

2 城下地区まちづくり計画の策定

令和元年度に実施した城下地区住民アンケートの結果を参考にし、専門委員会等を設置し、「城下まちづくり計画」の策定に取り組みます。

3 城下地区4団体の活動支援

城下地区自治会連合会、城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯防災協議会及び城下地区環境建設協議会の活動支援を行います。

4 城下地区住民への広報活動の推進

広報誌「城下まちづくり通信」やホームページなどを通して、城下まちづくり未来会議及び構成団体の活動状況を地域住民にお知らせし、住民協働による地域づくりを進めます。

5 川辺・泉田まちづくり協議会との連携

川辺・泉田まちづくり協議会と連携を図り、城南地域の課題解決に向けた取り組みを進めます。

第6号議案

城下まちづくり未来会議 令和2年度収支予算(案)

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

会長 沓掛 勝也

会計 今井 洋幸

収入総額 4,894,027円

支出総額 4,894,027円

差引金額 0円

(収入の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
1. 交付金	交付金	3,304,797	4,894,000	1,589,203	
(交付金返戻)		(-195,203)			
2. 雑収入	雑入	14		△ 14	利子
3. 繰越金	繰越金	13	27	14	
	合 計	3,304,824	4,894,027	1,589,203	

(支出の部)

(単位：円)

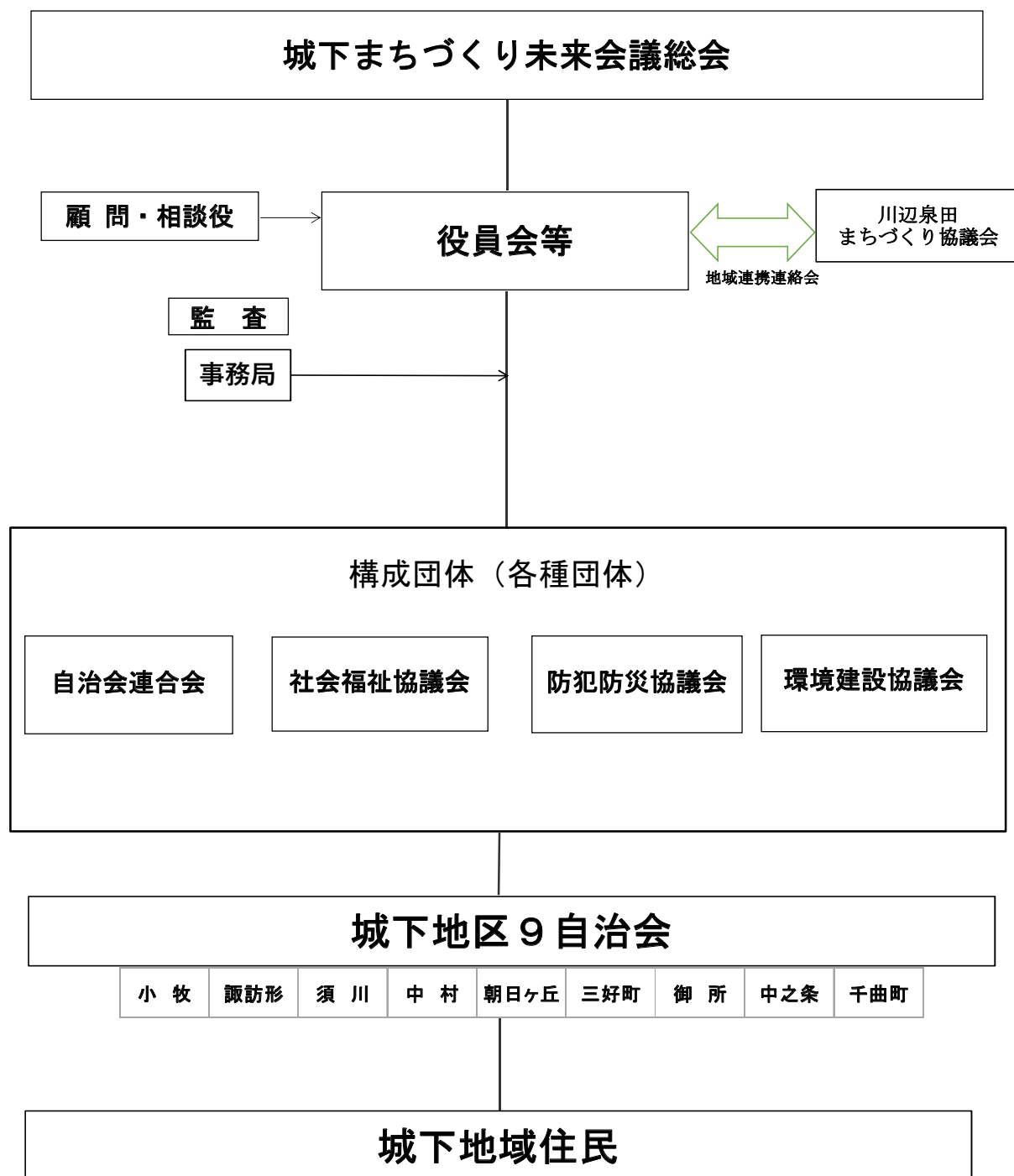
項目	上田市科目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
1. 運営費・活動費	報酬	304,000	491,000	187,000	26名
	賃金	1,026,410	1,027,000	590	事務局員賃金
	報償費	24,160	50,000	25,840	講師謝礼等
	旅費	25,677	46,000	20,323	
	消耗品費	327,738	171,000	△ 156,738	紙インク等事務用品雑貨他
	燃料費	6,786	20,000	13,214	
	食糧費	84,328	165,000	80,672	お茶弁当其他
	印刷製本費	583,854	1,375,000	791,146	会報4回総会資料
	光熱水費	700	3,000	2,300	防災センター冷暖房費
	修繕料	10,982	5,000	△ 5,982	床修理
	通信運搬費	112,646	120,000	7,354	電話ネット切手
	手数料	3,903	4,700	797	振込手数料等
	保険料		0		
	委託料	220,000	300,000	80,000	HPメンテナンス
	使用料及び賃借料	312,760	396,000	83,240	事務所家賃、HPサーバー
	原材料費	12,568	0	△ 12,568	
	備品購入費	238,285	100,000	△ 138,285	
	負担金	10,000	10,000	0	総会補助自治連へ
2. 予備費	予備費	0	610,327	610,327	内50万は積立金
	合 計	3,304,797	4,894,027	1,589,230	

令和2年度 城下まちづくり未来会議事業費内訳

単位：円

事業 番号	実施 日	事業名	事業内容	事業費
1	通年	組織運営事業	役員報酬、スタッフ人件費、事務所維持費など組織の運営に係る経費	3,004,327
2	通年	情報発信事業	広報、ホームページなど組織の活動などの情報発信	300,000
3	通年	あいさつ運動実施事業	広域的な育成活動として毎年3月、7月、11月をあいさつ月間として、あいさつ運動を実施する	62,700
4	通年	防犯防災事業	地区防災計画冊子作成 防災訓練の実施 防災対策視察研修 防犯サイレン設置事業	859,000
5	通年	環境建設事業	各地区 環境整備保全事業 健康づくり講座実施 広域的育成講座実施	668,000
合 計				4,894,027

城下まちづくり未来会議 組織図



城下まちづくり未来会議規約（変更前）

（名称）

第1条 この会は、城下まちづくり未来会議（以下「まちづくり未来会議」という。）と称する。

（区域）

第2条 まちづくり未来会議の区域は、上田市城下地域とする。

（目的）

第3条 まちづくり未来会議は、城下地域の住民が相互に連絡調整を図り、地域の活性化、住民福祉の向上に寄与するとともに、住民による住みよいまちづくり、未来づくりを推進することを目的とする。

（事務所）

第4条 まちづくり未来会議の事務所は、上田市諏訪形1160番地2 信州うえだ農業協同組合上田西支所城下店内に置く。

（事業）

第5条 まちづくり未来会議は、次の事業を行う。
（1） 地域の振興と課題解決に向けた事業の企画、実施に関すること。
（2） その他、目的達成に必要な事項に関すること。

（構成団体）

第6条 まちづくり未来会議には、次の構成団体をもって構成する。

- （1） 城下地区自治会連合会
- （2） 城下地区社会福祉協議会
- （3） 城下地区防犯防災協議会
- （4） 城下地区まちづくり協議会
- （5） その他会長が必要と認めた部会及び委員会

（役員）

第7条 まちづくり未来会議に次の役員を置く。

- （1） 会長 1人
- （2） 副会長 若干名
- （3） 会計 1人
- （4） 事務局長 1人
- （5） 委員 15人以内
- （6） 監事 2人

2 役員は、第6条に規定する構成団体が推薦する者をもって構成する。

3 会長、副会長、会計、事務局長及び監事は、役員の互選により選任し、総会において承認する。ただし、任期の途中で欠けた場合は、役員会で選出する。

4 会長は、委員を推薦することができる。

（役員の職務）

第8条 会長は、会務を総理し、まちづくり未来会議を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 3 委員は、まちづくり未来会議の運営に必要な会務を行う。
- 4 会計は、まちづくり未来会議の会計を行う。
- 5 事務局長は、事務局を掌理する。
- 6 監事は、まちづくり未来会議の会計を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は補充することができる。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員任期が満了したときは、当該役員は、後任者が任命されるまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(顧問)

第10条 まちづくり未来会議に顧問及び相談役を置くことができる。

- 2 顧問及び相談役は役員会において決定し、会長が委嘱する。

(総会)

第11条 総会は、会長が招集し、公開で行う。

- 2 総会は、代議員制とする。
- 3 会長、副会長、会計及び事務局長は、代議員となることできない。
- 4 総会は、代議員の過半数以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- 5 総会の議長は、代議員が互選する。
- 6 総会は、年1回定期に開催する。ただし、会長が必要と認めた場合、臨時に開催することができる。
- 7 代議員の4分の1以上の請求があったときは、会長は総会を招集しなければならない。
- 8 総会は、次の事項について議決する。
 - (1) 規約の改廃に関する事。
 - (2) 事業計画及び事業報告に関する事。
 - (3) 予算及び決算に関する事。
 - (4) まちづくり計画に関する事。
 - (5) その他会長が必要と認める事。
- 9 代議員の選出については、別表に定める。
- 10 代議員の任期は1年とし、定期総会から翌年の定期総会の前日までとする。
- 11 総会の議事は、出席代議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。
- 12 第8項各号の事項について、緊急を要するときは、役員会の決定をもって総会の議決に代えることができる。
- 13 前項の規定により決定した事項は、総会で報告し承認を得るものとする。

(役員会)

第12条 まちづくり未来会議に役員会を置き、第7条の役員をもって構成する。

- 2 役員会は、会長が招集し、会長が議長となる。

3 役員会は、次の事項について協議する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会により付託された事項
- (3) まちづくり未来会議の運営及び執行に関する事項
- (4) その他会長が必要と認めた事項

4 会長は、必要に応じて、役員以外の者を役員会に出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務局)

第13条 まちづくり未来会議に事務局を置く。

2 会長は、事務局員を任命する。

(経費)

第14条 まちづくり未来会議の経費は、交付金その他の収入をもって充てる。

(事業年度)

第15条 まちづくり未来会議の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(会計年度)

第16条 まちづくり未来会議の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(補則)

第17条 この規約に定めるもののほか、この規約の施行に関し必要な事項は、
会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成29年6月17日から施行する。
- 2 平成30年6月23日一部改訂
- 3 まちづくり未来会議の設立時の役員は、第9条第1項の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。

別表 (第11条 第9項関係)

(1) 各自治会が推薦する者

(2) 次に挙げる団体が推薦する者

ア 城下地区防犯防災協議会

イ 城下地区まちづくり協議会

ウ 城下地区社会福祉協議会

(3) その他、会長が必要と認める団体が推薦する者

第7号議案

令和元年度城下地区自治会連合会事業報告

1 総括

城下地区自治会連合会は、当地区 9 自治会に共通する課題解決に向けた取り組みを行いました。御協力いただきました各自治会長はじめ自治会役員ほか関係者に感謝申し上げます。

昨年 10 月に発生した台風 19 号に対して各自治会においては、避難指示、自主避難場所の開設そして被災者への対応等に変な苦慮するとともに、事前の準備を含め防災への備えが万全なものではありませんでした。

昨年の経験から、各自治会の枠を超えた広域的な防災対策の重要性を改めて認識いたしました。

2 地区自治会連合会の事業

- (1) 毎月定例の城下地区 9 自治会長会を開催し、情報の共有化を図り、各自治会の事業が円滑に推進できるよう必要な調整等を行いました。
- (2) 城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯防災協議会、城下地区まちづくり協議会と連携し、城下まちづくり未来会議総会において、上田市等への要望活動を行いました。
- (3) 上田市消防団第 6 分団の団員確保に向けた啓発、支援に取り組みました。
- (4) 東山城下地区におけるメガソーラー施設の建設を規制するための条例制定に向けた活動等について、川辺・泉田関係自治会と連携して取り組みました。併せて制定された条例の説明会に参画しました。
- (5) 城南地区青少年育成市民会議に参画し、子どもたちの健全な育成の推進に取り組むほか関係機関・団体と連携して諸活動を行いました。

3 安全・安心なまちづくり事業

- (1) 地域の防災力の向上に向け、全自治会の役員が参加して「土のう作成・運搬」を中核とした防災訓練を実施しました。
- (2) 台風 19 号災害復旧・復興に向け、上田市等に対し緊急要望活動を行いました。併せて千曲川堤防等復旧工事説明会に出席し、改めて早期の復旧・復興を強く要望しました。
- (3) 「あいさつ声かけ運動」への参加など地域の交通安全確保に向けた取り組みを行いました。
- (4) 城下地区社会福祉協議会や城下地区まちづくり協議会が主催した講演会や健康講座の開催について連携して取り組みました。

城下地区自治会連合会

活動記録

期 日	会議等名称	場 所
2月2日	城下地区自治会長会議	防災センター
15日	上田市自治会連合会地区連合会長会議	駅前ビルパレオ
23日	城下地区自治会連合会新旧役員引継会	まるみ寿司
3月1日	城下地区あいさつ声かけ運動	南小ほか
8日	上田市自治会連合会定例役員会	駅前ビルパレオ
9日	城下地区自治会長会議	防災センター
10日	上田市消防団第6分団会計監査	防災センター
14日	第四中学校卒業式	第四中学校
15日	城下小学校・南小学校卒業式	城下小学校・南小学校
〃	上田市自治会連合会総会	サントミューゼ
16日	上田市消防団第6分団消防委員会	防災センター
23日	城下保育園・下之条保育園卒園式	城下保育園・下之条保育園
4月2日	城下保育園・下之条保育園入園式	〃
〃	県議選投票事務打合せ	上田創造館
4日	城下小学校・南小学校入学式	城下小学校・南小学校
〃	第四中学校入学式	第四中学校
5日	城下地区自治会連合会会計監査	防災センター
7日	長野県議会議員選挙投票立ち合い	各投票所
11日	太陽光発電施設に係る説明会	防災センター
19日	上田市自治会連合会定例役員会	丸子地域自治センター
20日	城下地区自治会長会議	防災センター
〃	城下まちづくり未来会議役員会	〃
21日	上田市交通安全協会城下支会総会	〃
23日	太陽光発電施設に係る打合せ	〃
26日	上田市防犯協会理事会	上田市役所
28日	上田市消防団第6分団総会	防災センター
5月9日	城南地区青少年育成市民会議 役員会	城南公民館
10日	自治会連合会自治会長市視察研修	サントミューゼほか
〃	上田駅前安全パトロール	上田駅周辺
13日	太陽光発電施設に係る市長要望	上田市役所
18日	城下まちづくり未来会議要望事項調整会議	防災センター

城下地区自治会連合会

活動記録

期 日	会議等名称	場 所
20日	有害鳥獣駆除対策協議会定期総会	上小森林センター
21日	赤い羽根共同募金委員会	上田市社会福祉協議会
〃	防犯協会総会	上田創造館
23日	上田市安全会議	〃
24日	上田市自治会連合会定例役員会	高砂殿
25日	城下地区自治会長会議	防災センター
30・31日	上田市自治会連合会自治会長視察研修	埼玉・茨城地区
6月1日	南小学校運動会	南小学校
4日	赤い羽根共同募金運営委員会	上田市社会福祉協議会
10日	別所線電車存続期成同盟会正副会長会	上田市役所
15日	城下まちづくり未来会議総会	防災センター
18日	城下地区あいさつ声かけ運動実行委員会	〃
20日	上田城南地域協議会	城南公民館
21日	上田市自治会連合会定例役員会	真田地域自治センター
22日	城下地区自治会長会議	防災センター
23日	第14回ポンプ操法・ラッパ吹奏上田大会	千曲川河川敷グラウンド
7月1日	城下地区あいさつ声かけ運動	南小学校ほか
4日・5日	上田市自治会連合会役員視察	糸魚川市防災センター他
8日	参議院議員選挙投票事務打合せ	上田創造館
9日	城南地区青少年育成市民会議 講演会	城南公民館
12日	上田市自治会連合会定例役員会	丸子地域自治センター
13日	城下地区自治会長会議	防災センター
21日	参議院議員選挙投票立ち合い	各投票所
8月23日	上田市自治会連合会定例役員会	西部公民館
24日	城下地区自治会長会議	防災センター
〃	城下まちづくり未来会議役員会	〃
25日	城下地区連合育成会野球大会	南小学校グラウンド
9月4日	南小学校防災訓練	〃
5日	六ヶ村堰土地改良区・関係自治会懇談会	上田創造館
7日	城下地区防災訓練	防災センター
20日	上田市自治会連合会定例役員会	駅前ビルパレオ
21日	城下地区自治会長会議	防災センター
〃	城下まちづくり未来会議役員会	〃
27日	城南地域協議会	城南公民館
10月1日	赤い羽根共同募金 街頭募金活動	上田駅前

城下地区自治会連合会

活動記録

期 日	会議等名称	場 所
3日	上田市総合計画審議会	上田市役所
4日	「太陽光発電の適正な設置に関する条例」説明会	中村自治会館
10日	明るい選挙推進協議会総会	丸子文化会館
12日～	台風19号対応	各自治会
15日	上田市と台風19号災害箇所の現場確認・今後の対応協議	千曲川堤防ほか
18日	南小学校音楽会	南小学校
19日	城下自治連定	防災センター
〃	城下まちづくり未来会議役員会	〃
20日	下之条保育園運動会	下之条保育園
25日	上田市自治会連合会正副会長会	上野が丘公民館
29日	別所線存続期成同盟会緊急要望	上田市役所
30日	自治会活性化専門委員会	上野が丘公民館
11月1日	城下地区あいさつ声かけ運動	南小学校ほか
〃	上田市社会福祉大会	サントミューゼ
5日	上田市総合計画審議会	上田市役所
7日	自治会活性化専門委員会	駅前ビルパレオ
11日	台風19号災害対応に係る上田市長への要望活動	上田市役所
12日	城下地区社会福祉協議会講演会	防災センター
14日	別所線存続期成同盟会緊急役員会	塩田地域自治センター
19日	上田市暴走族等対策会議	清浄園
20日	上田市自治会連合会定例役員会	上野が丘公民館
22日	上田市功労者表彰式	サントミューゼ
23日	城下地区自治会長会議	防災センター
〃	城下まちづくり未来会議役員会	〃
24日	城下地区連合育成会野球大会	県営球場
26日	上田市戦没者追悼式	上田創造館
30日	城南地区青少年育成市民会議 子どもわいわい会議	城南公民館
12月3日	自治会活性化専門委員会	西部公民館
8日	「信州上田学」講演会	防災センター
11日	市政三者懇談会	ホテル祥園
13日	上田市自治会連合会定例役員会	丸子地域自治センター
〃	自治会活性化専門委員会	〃
14日	城下地区自治会長会議	防災センター
〃	城下まちづくり未来会議役員会	〃

城下地区自治会連合会

活動記録

期 日	会議等名称	場 所
16日	城南地域協議会	城南公民館
17日	上田市総合計画審議会	駅前ビルパレオ
〃	上田市消防団第6分団消防委員会	防災センター
20日	城下まちづくり未来会議役員忘年会	まるみ寿司
R2. 1月6日	自治会連合会正副会長会	上田市役所
〃	自治会活性化専門委員会	〃
16日	城南地域協議会	城南公民館
17日	上田市自治会連合会会計監査	上田市役所
〃	上田市自治会連合会定例役員会	駅前ビルパレオ
〃	自治会活性化専門委員会	〃
〃	上田市環境衛生協議会	〃
20日	上田市総合計画審議会	城南公民館
23日	別所線早期復旧署名活動報告	上田市役所
26日	健康シリーズ講演会	防災センター
29日	自治会活性化専門委員会	上野が丘公民館
31日	まちづくり講演会	上田市文化センター
2月1日	城下地区自治会連合会新旧自治会長会議	防災センター
〃	城下まちづくり未来会議役員会	〃
7日	自治会活性化専門委員会	上田市役所
14日	上田市自治会連合会定例役員会	駅前ビルパレオ
〃	自治会活性化専門委員会検討結果報告	〃
18日	上田市総合計画審議会	上田市役所
19日	台風19号災害復旧工事説明会	駅前ビルパレオ
20日	城南地域協議会	城南公民館
22日	城下地区自治会連合会新旧自治会長引継会	まるみ寿司
23日	千曲川河川環境整備事業設立総会	中央公民館
27日	上田市自治会連合会新旧正副会長会	上田市役所
3月6日	上田市自治会連合会定例役員会	駅前ビルパレオ
7日	城下地区自治会連合会自治会長会	防災センター
22日	上田市消防団第6分団消防委員会	〃
24日	上田市自治会連合会代議員会(総会)	上野が丘公民館
4月4日	上田市自治会連合会会計監査	防災センター
	まちづくり未来会議会計監査	〃

第8号議案

令和元年度城下地区自治会連合会決算

期間（平成31年4月 1 日～令和2年3月31日）

会 長 中澤 照夫
会 計 柴田 大八

収入 合計額	731, 359	円
支出 合計額	503, 803	円
下期繰越金	227, 556	円

収 入 の 部単位 : 円

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内容
A	繰 越 金	247, 930	247, 930	0	前年度繰越金
B	負 担 金	158, 000	158, 680	680	9 自治会負担金(40円×3, 967戸)
C	助 成 金	120, 000	177, 900	57, 900	上田市自治会連合会(地区活動費、事務委託料)環境衛生協議会 上田市社会福祉協議会 城下まちづくり未来会議
D	使 用 料	15, 000	27, 847	12, 847	プリンター印刷使用料(自治連備品)
E	雑 収 入	110, 000	119, 002	9, 002	会議等負担金 ご祝儀 預金利息
F	繰 入 金	0			
	合 計	650, 930	731, 359	80, 429	

支 出 の 部

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内容
1	会 議 費	270, 000	191, 160	△ 78, 840	総会、新旧役員引継会、役員会
2	研 修 費	30, 000	20, 000	△ 10, 000	役員視察研修負担金
3	交 際 費	50, 000	41, 303	△ 8, 697	上田市自治連懇親会 各団体懇親参加祝儀 他
4	負担金補助及び交付金	110, 000	108, 540	△ 1, 460	県保護観察協会 城南地区青少年育成市民会議 別所線存続期成同盟会会費 城南地区運動会 慰霊碑建立 他
5	消 耗 品 費	30, 000	20, 000	△ 10, 000	自治連備品消耗品代
6	印 刷 費	10, 000	0	△ 10, 000	
7	修 繕 費	10, 000	0	△ 10, 000	
8	役 員 手 当	65, 000	63, 000	△ 2, 000	役員(9名)・顧問(1名)
9	旅 費 交 通 費	20, 000	9, 800	△ 10, 200	
10	予 備 費	55, 930	50, 000	△ 5, 930	城下防犯防災協議会へ戻金
	合 計	650, 930	503, 803	△ 147, 127	

会計監査

令和2年4月4日 一般会計監査を実施しました。

会計帳簿、領収書を精査した結果、収支共明確であり決算は適正である事を承認します。

監 事 古平 茂 印
監 事 窪田 和人 印

令和元年度城下地区防災センター決算報告書

期間 (平成31年4月 1 日～令和2年3月31日)

管理者 岡部 昭男
会 計 柴田 大八

収入総額 1,231,730 円
支出総額 982,871 円
下期繰越金 248,859 円

収 入 の 部 単位 : 円

	項 目	本 年 度 年 度 予 算 額	本 年 度 決 算 額	増 減	内 容
A	繰 越 金	428,526	428,526	0	前年度繰越金
B	施 設 使 用 料	600,000	665,439	65,439	ホール・和室使用料
C	電 気 使 用 料	130,000	137,761	7,761	エアコン使用料、分団負担電気料
D	積 立 金 解 約	0	0	0	
E	雑 収 入	3	4	1	貯金利息
	合 計	1,158,529	1,231,730	73,201	

支 出 の 部

	項 目	本 年 度 年 度 予 算 額	本 年 度 決 算 額	増 減	内 容
1	会 議 費	10,000	0	△ 10,000	
2	管 理 報 酬 費	80,000	80,000	0	運営委員 (2名) 20,000円清掃分
3	消 耗 品 費	20,000	6,806	△ 13,194	トイレ用品・除草 剤他
4	修 繕 費 費	100,000	18,144	△ 81,856	昼張替え 誘導灯バッテリー交換
5	研 修 費 費	0	0	0	
6	光 熱 水 費	450,000	435,265	△ 14,735	電気、ガス、上下水道
7	委 料 費 費	60,000	116,792	56,792	清掃、草刈り、防災管理
8	備 品 購 入 費	10,000	22,500	12,500	消火器
9	事 務 ・ 印 刷 費	5,000	1,608	△ 3,392	事務消耗品
10	積 立 金	0	300,000	300,000	定期貯金へ
11	予 備 費	423,529	1,756	△ 421,773	のぼり旗ボール処分代
	合 計	1,158,529	982,871	△ 175,658	

積 立 金 (令和2年3月31日)

預 入 番 号	使 途 目 的	金 額	明 細
0001	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,000	1年定期貯金 期日(R3.3.3) 信州うえだ農協 上田西支所
0002	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,928	1年定期貯金 期日(R2.8.26) 信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 501,878	1年定期貯金 期日(R2.6.17) 信州うえだ農協 上田西支所
0004	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 200,051	1年定期貯金 期日(R3.3.28) 信州うえだ農協 上田西支所
合 計		¥1,302,857	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和 2 年 4 月 4 日

監 事 古 平 茂 ㊞

監 事 窪 田 和 人 ㊞

報 告

令和 2 年度 城下地区自治会連合会役員

役 職 名	氏 名	自 治 会
会 長	渡 邊 規 夫	中 村
副 会 長	片 岡 誠一郎	小 牧
副 会 長	中 澤 史 明	三 好 町
会 計	細 川 義 雄	諏 訪 形
評 議 員	手 塚 三 博	須 川
評 議 員	川 口 博 司	朝日ヶ丘
評 議 員	西 澤 信 義	中 之 条
監 事	田 玉 治 實	御 所
監 事	鋒 城 康 弘	千 曲 町
防災センター管理者	西 澤 信 義	中 之 条
顧 問	中 澤 照 夫	中 之 条

令和2年度城下地区自治会連合会事業計画（案）

1 基本方針

城下地区自治会連合会は、当地区9自治会に共通する諸課題の解決に向け、関係機関・団体と一体となりその取り組みを進めてまいります。

また、城下まちづくり未来会議を構成する各団体と連携・協働の基に、「安全で安心な地域づくり」の実現に努めてまいります。

特に、昨年の台風19号災害を教訓として、城下地域全体での防災対策に取り組んでまいります。

2 地区自治会連合会の事業

- (1) 毎月城下地区9自治会長会議を開催し、情報の共有化を図る中で、各自治会の事業が円滑に推進できるよう調整に努めてまいります。
- (2) 城下まちづくり未来会議を構成する城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯防災協議会、城下地区環境建設協議会と連携し、上田市等への要望活動に取り組んでまいります。
- (3) 川辺・泉田まちづくり協議会と連携し、城南地域のまちづくりに必要な事業に取り組んでまいります。
- (4) 上田市消防団第6分団の新規団員の確保に向けた協力、支援に努めます。
- (5) 城南公民館、城南地区青少年育成市民会議等の主催事業に参画し、城下地区住民の福祉向上に努めてまいります。

3 安全・安心なまちづくり事業

- (1) 災害に強いまちづくりを目指し、中核を担う城下地区防犯防災協議会と連携し、広域的な防災対策に取り組んでまいります。
- (2) 住宅化が急速に進展する地域事情に鑑み、上田市交通安全協会城下支会との連携を密にし、交通事故の防止等地域の安全対策に取り組んでまいります。
- (3) 少子高齢化社会における福祉課題の解決に向け、城下地区社会福祉協議会と連携して取り組みを進めてまいります。

第10号議案

令和2年度城下地区自治会連合会予算書(案)

期間（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

会 長 渡邊 規夫
会 計 細川 義雄

収入総額	667,596	円
支出総額	667,596	円
差引残高	0	円

収 入 の 部 単位：円

	項 目	前 年 度 決 算 額	本 年 度 年 度 予 算 額	増 減	内 容
A	繰 越 金	247,930	227,556	△ 20,374	前年度繰越金
B	負 担 金	158,680	165,040	6,360	9自治会負担金(世帯数×40円)
C	助 成 金	177,900	130,000	△ 47,900	上田市自治連(地区活動費、事務委託料) 上田 市環境衛生協議会 長野県共同募金他
D	使 用 料	27,847	25,000	△ 2,847	プリンター印刷使用料(自治連備品)
E	雑 収 入	119,002	120,000	998	会議等負担金
F	繰 入 金	0	0	0	
	合 計	731,359	667,596	△ 63,763	

支 出 の 部

	項 目	前 年 度 決 算 額	本 年 度 年 度 予 算 額	増 減	内 容
1	会 議 費	191,160	240,000	48,840	総会、新旧役員引継ぎ会、役員会
2	研 修 費	20,000	30,000	10,000	先進地視察研修
3	交 際 費	41,303	50,000	8,697	上田市自治連懇親会 他
4	負担金補助及び交付金	108,540	110,000	1,460	城南地区運動会 城南地区青少年育成市民会議 別 所電車存続期成同盟会
5	消 耗 品 費	20,000	30,000	10,000	自治連備品消耗品代
6	印 刷 費	0	10,000	10,000	資料印刷等
7	修 繕 費	0	10,000	10,000	
8	役 員 手 当	63,000	67,000	4,000	役員・顧問(12名)
9	旅 費 交 通 費	9,800	20,000	10,200	
10	予 備 費	50,000	100,596	50,596	
	合 計	503,803	667,596	163,793	

積 立 金	(令和2年3月31日)		
預 入 番 号	使 途 目 的	金 額	明 細
0001	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,000	1年定期貯金 期日(R3.3.3) 信州うえだ農協 上田西支所
0002	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,928	1年定期貯金 期日(R2.8.26) 信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 501,878	1年定期貯金 期日(R2.6.17) 信州うえだ農協 上田西支所
0004	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 200,051	1年定期貯金 期日(R3.3.28) 信州うえだ農協 上田西支所
合 計		¥ 1,302,857	

令和2年度城下地区防災センター予算(案)

期間（平成31年4月 1 日～令和 2 年 3 月 3 1 日）

管理者 西澤 信義
会 計 細川 義雄

収入総額 848,863 円

支出総額 848,863 円

差引残高 0 円

収 入		単位 : 円			
	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	備 考
A	繰 越 金	428,526	248,859	△ 179,667	前年度繰金
B	施 設 使 用 料	665,439	500,000	△ 165,439	ホール・和室使用料
C	電 気 使 用 料	137,761	100,000	△ 37,761	エアコン使用料、分団負担電気料
D	積 立 金 解 約	0	0	0	
E	雑 収 入	4	4	0	貯金利息
	合 計	1,231,730	848,863	△ 382,867	

支 出		単位 : 円			
	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	備 考
1	会 議 費	0	10,000	10,000	運営会議
2	管 理 報 酬 費	80,000	80,000	0	運営委員（9名）40,000円 セブンイレブン 40,000円
3	消 耗 品 費	6,806	20,000	13,194	スリッパ・トイレ用品・除草剤他
4	修 繕 費 費	18,144	100,000	81,856	カーテン補修・水回り修繕等
5	研 修 費	0	0	0	
6	光 熱 水 費	435,265	400,000	△ 35,265	電気、ガス、上下水道
7	委 料 費	116,792	120,000	3,208	防災設備管理(北信ポンプ)55,000円 室内清掃40,000円、草刈り
8	備 品 購 入 費	22,500	10,000	△ 12,500	
9	事 務 ・ 印 刷 費	1,608	5,000	3,392	事務消耗品
10	積 立 金	300,000	0	△ 300,000	定期貯金積み立て
11	予 備 費	1,756	103,863	102,107	
	合 計	982,871	848,863	△ 134,008	

令和元年度 城下地区社会福祉協議会事業報告

城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治連、防犯防災、まちづくり協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めて参りました。

1 主な会議等

- (1) 城下地区 4 団体打ち合せ(上田市等への要望事項検討)・・・4 月 20 日(土)
- (2) 第 1 回城下地区福祉推進協議会・・・・・・4 月 20 日(土)
- (3) 上田市社協、地区社協正副会長会義・・・・6 月 14 日(金)
- (4) 城下まちづくり未来会議合同理事会・・・・5 月 18 日(土)
- (5) 城下まちづくり未来会議総会・・・・・・6 月 15 日(土)
- (6) 城下まちづくり未来会議定例会義
- (7) 城下地区防災訓練関連会議
- (8) 第 13 回上田市社会福祉大会・・・・・・11 月 1 日(金)
- (9) 第 2 回城下地区福祉推進協議会・・・・・・11 月 30 日(土)
- (10) 会計監査・・・・・・令和 2 年4月 4 日(土)

2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入(各自治会単位)
 - 普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応・・・6 月末
 - ・普通会費収納額 合計 2,024,000 円
- (2) あいさつ運動の推進(新規事業平成29年度より開始)
 - ・「城下 あいさつ・声かけ運動」実行委員会開催・・・6 月 18 日(火)
 - 25 団体 32 名出席
 - ・街頭活動
 - 1) 全国強調月間に合せて、早朝より約 1 時間城下地区内 25 ヶ所一斉に実施
実施日：①7 月 1 日(月) ②11 月 1 日(金)
なお、3 月 2 日(月)に予定していました活動は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2 月 27 日 3 役会を開催、安心・安全のため中止としました。
 - 2) 長野上田線三好町歩道橋に、標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕を強調月間に合せ、各月 1 ヶ月間2面設置、啓発活動を行った。
 - 3) あいさつ運動チラシ全戸配布
 - ・昨年と同様、地区内の皆様方によりご理解・ご協力を頂くためチラシを配布。
(自治会会員及び関係団体等へ 4, 825 枚)
 - ・啓発用ポケットテッシュの作成、配布 (11 月 1 日街頭活動日合せ)
施設、保育園、学校関係者に配布(3,690 個)

(3) 城下地区住民会議の開催(福祉講演会) 11月12日(火)

- ・講師 大澤 道彦氏(鹿教湯三才山リハビリテーションセンター センター長)
- ・演題 「脳卒中の予防と緊急時の対応について」 出席者 80 名

脳卒中が疑われたら一刻も早く専門的病院へ

“119 番”または “専門的病院” へ

(4) 第 8 回城下地区防災訓練・防災講演会参加……9 月 7 日(土)

(5) 自治会支部社協で行なう、地域ふれあい事業の推進……4 月～12 月
(ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等)

(6) 自治会支部社協で行なう、福祉活動に対し支援。

- ・助成金 9 自治会へ 204,040 円

民生児童委員会、福祉推進協議会へ各 10,000 円

令和元年度 城下地区社会福祉協議会決算

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

会 長 増澤 吉雄
会 計 今井 洋幸

収入合計額	434,078円
支出合計額	279,510円
差引残高	154,568円

(収入の部)

(単位:円)△は減額を示す

項目	前年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	127,478	127,478	0	
助成金	301,022	303,600	2,578	上田市社会福祉協議会費還付金
雑収入	0	3,000	3,000	住民会議ご祝儀
合計	428,500	434,078	5,578	

(支出の部)

(単位:円)△は減額を示す

項目	前年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	10,000	2,000	△ 8,000	
研修費	40,000	18,595	△ 21,405	住民会議、各自治会の事業見学及び意見交換
消耗品費	5,000	2,796	△ 2,204	事務用品
助成金	230,000	224,040	△ 5,960	自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 民生児童委員会 10,000円 福祉推進委員会 10,000円
役員手当	32,000	27,000	△ 5,000	19名
旅費交通費	5,000	5,079	79	
予備費	106,500	0	△ 106,500	
合計	428,500	279,510	△ 148,990	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和2年4月4日

監事 古平 茂 (印)

監事 窪田 和人 (印)

令和2年度 城下地区社会福祉協議会理事、監事

(敬称略)

番号	役職名	氏 名	所属団体	自治会
1	会 長	増澤 吉雄	令和元年度地区福祉協議会会長	中村
2	副会長	上野 和利	地区民生児童委員会会長	須川
3	副会長	工藤 洋嗣	地区福祉推進協議会会長	小牧
4	副会長	渡邊 規夫	地区自治会連合会会長・中村自治会長	中村
5	副会長	高橋 義幸	令和元年度地区まちづくり協議会副会長	中之条
6	会 計	今井 洋幸	城下まちづくり未来会議会計	諏訪形
7	理 事	小坂井 正明	地区防犯防災協議会会長	御所
8	理 事	小野澤 義和	地区環境・建設協議会会長	中村
9	理 事	手塚 三博	須川自治会長	須川
10	理 事	川口 博司	朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
11	理 事	片岡 誠一郎	小牧自治会長	小牧
12	理 事	細川 義雄	諏訪形自治会長	諏訪形
13	理 事	中澤 史明	三好町自治会長	三好町
14	理 事	田玉 治實	御所自治会長	御所
15	理 事	西澤 信義	中之条自治会長	中之条
16	理 事	鋒城 康弘	千曲町自治会長	千曲町
17	理 事	前橋 利江	城下地域包括支援センター所長	小牧
18	理 事	竹内 久子	上田市社協地域お結びサポーター	朝日ヶ丘
19	監 事	田玉 治實	自治連監事・御所自治会長	御所
20	監 事	鋒城 康弘	自治連監事・千曲町自治会長	千曲町
1	顧 問	宮下 省二	24年度自治連会長	諏訪形
2	顧 問	宮下 修身	26年度地区福祉協議会会長	諏訪形

令和2年度 城下地区社会福祉協議会

(敬称略)

役 職 名		氏 名	自治会名	役 職	氏 名
会長 (元年度地区福祉協議会会長)		増澤 吉雄	朝日ヶ丘	自治会長	川口 博司
副会長 (地区民生児童委員会会長)		上野 和利		副自治会長	矢島 敏彦
副会長 (地区福祉推進協議会会長)		工藤 洋嗣		民生児童委員	宮入 鏡
副会長 (2年度地区自治連会長)		渡邊 規夫		福祉推進委員	阿部 久利
副会長 (元年度地区まちづくり協議会副会長)		高橋 義幸	千曲町	自治会長	鋒城 康弘
自治会名	役 職	氏 名		副自治会長	大倉 幸雄
三好町	自治会長	中澤 史明		民生児童委員	北沢 育夫
	副自治会長	市川 泉		//	竹内 静世
	民生児童委員	若林 恵利子		//	丸山 和枝
	社会福祉協議会長	竹村 文夫		社会福祉協議会長	牧野 良平
須 川	自治会長	手塚 三博	諏訪形	自治会長	細川 義雄
	副自治会長	手塚 博明		副自治会長	小林 保利
	民生児童委員	上野 和利		民生児童委員	滝澤 裕子
	福祉推進委員	手塚 三博		//	細川 茂子
中之条	自治会長	西澤 信義	御 所	社会福祉協議会長	窪田 和人
	副自治会長	中澤 伸夫		社会部長	岩崎 晴子
	民生児童委員	吉原 静枝		自治会長	田玉 治實
	//	西沢 安彦		副自治会長	河面 清
	//	藤松 則子		民生児童委員	竹中 久美子
	主任児童委員	岡村 さつき		//	小宮 美恵子
	福祉推進委員	田中 康子		//	小川 節子
中 村	自治会長	渡邊 規夫	小 牧	福祉推進委員	山口 節美
	副自治会長	清水 俊器		自治会長	片岡 誠一郎
	民生児童委員	大澤 敬子		副自治会長	宮島 弘
	//	黒田 敏子		民生児童委員	片岡 敏久
	社会福祉協議会長	林 俊美		主任児童委員	長坂 和子
	社会部長	北村 達識		福祉推進委員	工藤 洋嗣

令和2年度 城下地区社会福祉協議会事業計画(案)

城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治連、防犯防災、環境建設協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めて参ります。

特に、少子高齢化社会の中で、一人暮らし高齢者や、児童への見守り活動など、地域全体で支える仕組みづくりを行政などと情報交換を行い推進します。

1 会 議

- (1) 上田市地区社協正副会長会……………6月 市ふれあい福祉センター
- (2) 城下地区まちづくり未来会議総会………4月25日(土) 午後1時 防災センター
※新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止。(総会資料は別途配布)
- (3) 城下地区社協3役会……………随時
- (4) 城下地区福祉推進協議会……………4月・11月

2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入(各自治会毎に対応)
普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応…… 6月末
- (2) 城下地区住民会議
住民会議の開催(福祉講演会) 城下地区防災センター(11月)
- (3) あいさつ運動の推進
 - ・目的:地域の一体感の醸成
 - ・目標:犯罪の防止、青少年の健全育成、地域社会の意識啓発
 - ・スローガン:あいさつで明るい未来のまちづくり
 - 1) 「城下 あいさつ・声かけ運動」街頭活動を全国強調月間に合わせ、実施
(7月・11月・3月)
 - 2) 長野上田線三好町歩道橋に、標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕2面を強調月間に合わせて設置、啓発活動を行う。(各月1ヶ月間)
- (4) 上田市社会福祉大会参加(サントミューゼ)…………… 10月頃
- (5) 各自治会支部社協で行う地域ふれあい事業の推進…………… 4月～12月
(ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等)
 - ・各自治会支部社協で行われている各事業について、情報交換及び見学参加等により連携を図る。
- (6) 各自治会支部社協で行う福祉活動に対し支援(助成)する。
- (7) 先進地視察研修

令和2年度 城下地区社会福祉協議会予算(案)

(令和2年年4月1日～令和3年3月31日)

会 長 増澤 吉雄
会 計 今井 洋幸

収入合計額	467,568円
支出合計額	467,568円
差引残高	0円

(収入の部)

(単位:円)

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	154,568	154,568	0	
助成金	303,600	310,000	6,400	上田市社会福祉協議会費還付金
雑収入	3,000	3,000	0	住民会議ご祝儀
合計	461,168	467,568	6,400	

(支出の部)

(単位:円)△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	2,000	6,000	4,000	
研修費	18,595	40,000	21,405	住民会議。各自治会支部社協の事業見学及び意見交換。先進地視察。
消耗品費	2,796	6,000	3,204	事務用品
助成金	224,040	230,000	5,960	自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 民生児童委員会 10,000円 福祉推進委員会 10,000円
役員手当	27,000	32,000	5,000	役員(22名)
旅費交通費	5,079	5,000	△ 79	
予備費	0	148,568	148,568	
合計	279,510	467,568	188,058	

令和元年度城下地区防犯防災協議会事業報告

1 城下地区防犯事業について

○ 活動スローガン

『みんなでつくろう安全・安心のまち・上田』

○ 重点推進事項

(1) 防犯意識の高揚と安全なまちづくりの推進

① 川辺交番の協力を得て、各種広報・啓発活動の推進

・自治会が所有する屋外放送施設の活用（6カ所）や防犯チラシ等による周知活動

(2) 関係機関・団体と連携・協働した自主防犯活動の推進

① 地域における自主防犯活動の推進

・春の地域安全運動の実施（4月1日～30日）

・夏の地域安全運動の実施（7月1日～31日）

・全国地域安全運動の実施（10月11日～10月20日）

・年末特別警戒活動の実施（12月1日～12月31日）

② 城下地区防犯指導員の活動

・城下地区防犯指導員班長・副班長を中心とした防犯活動

③ 城下地区社会福祉協議会と協働して「城下あいさつ・声かけ運動」の実施

・街頭活動 第1回7月1日（月） 第2回11月1日（金）

第3回令和2年3月2日（月） 新型コロナウイルスのため中止

(3) 子ども、女性、高齢者等の安全対策の推進

① 子どもを犯罪から守る活動の推進

- ・学校見守り活動の支援

② 女性を犯罪から守る活動の推進

③ 高齢者を犯罪から守る活動の推進

④ 少年健全育成活動・有害環境浄化活動の推進

- ・城下地区管内の防犯パトロールの実施
- ・有害環境浄化活動推進(駅前パトロール等)

2 城下地区防災事業について

(1) 自主防災組織による防災訓練及び各種講演会参加による地域連帯意識の醸成

① 第8回城下地区防災訓練事前会議の開催

ア 第8回城下地区防災訓練 「土のう作りと土のう積み訓練及び防災講演会」

イ 上田市の防災対策について講演（上田市総務部危機管理防災課）

② 第8回城下地区防災訓練（資料1）

ア 9月7日(土) 会場 城下地区防災センター駐車場

イ 自分達の地域は、自分達で守るという自覚と連帯感に基づく、城下地区9自治会の役員等による訓練

- ・講師 手塚上田南部消防署長、上田市消防団第六分団（4人）

ウ 参加者（51人）

- ・須川（4人） 小牧（4人） 諏訪形（5人） 中村（5人）

朝日ヶ丘（4人） 三好町（2人） 御所（6人）

中之条（6人） 千曲町（3人） 上田市消防団第六分団（4人）

城下まちづくり未来会議役員（8人）

③ 防災講演会（資料２）

ア ９月７日(土) 会場 城下地区防災センター大ホール

イ 台風や豪雨に備え日頃からの防災意識の醸成を図る

ウ プロジェクターによる研修

- ・ 講師 上田市総務部危機管理防災課 林秀宣防災担当係長

エ 参加者（４６人）

- ・ 須川（４人） 小牧（４人） 諏訪形（６人） 中村（６人）

朝日ヶ丘（２人） 御所（６人） 中之条（３人） 千曲町（３人）

城下まちづくり未来会議役員（８人） 上田市消防団第六分団（４人）

（２）住民と行政との協働による防災体制の推進

① 上田市と長野大学が連携して地域づくり人材育成講座２０１９に参加

- ・ 第１回～第５回（資料４）

ア 第１回 「２０年先を見据えた住民自治と郷土史防災」 長野大学

イ 第２回 「行政と市民と若者が手を取る防災を考える」 長野大学

ウ 第３回「防災における行政と市民の協働」－情報の共有と提供－長野大学

エ 第４回 「ジブンゴトの災害情報共有」 長野大学

オ 第５回 「「防災」から地域づくりをどう進めるか」 長野大学

- ・ 第１回から第５回までの各講座へ、未来会議役員、防犯防災協議会が参加

② 城下地区小中学校避難訓練に参加・指導、助言

ア ４月１６日（火）上田市立第四中学校避難訓練（７人参加）

イ ８月３０日（金）上田市立第四中学校避難訓練（４人参加）

- ・ 火災発生、避難経路の確認

ウ ９月 ３日（火）上田市立城下小学校避難訓練（６人参加）

- ・ 火災を想定した訓練

エ 9月 4日（水）上田市立南小学校避難訓練 （8人参加）

- ・ 朝の始業前訓練

オ 11月 1日（金）上田市立第四中学校避難訓練 （4人参加）

- ・ 避難経路を自ら判断をする。

（3） 火災予防の啓発

① 春の火災予防運動 3月1日～ 3月7日

② 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

③ 火災件数（H31.1.1～R1.12.31） 上田市54件 城下地区内3件（建物1・その他2）

（4） 先進地視察研修

① 8月23日（金）飯田市危機管理室（11人出向） （資料3）

* 城下地区防災計画策定に伴う研修であり、既に飯田市においては全区域での
地区防災計画が策定済みであることから。

- ・ プロジェクターによる視聴覚研修

（5） 第六分団消防委員会

① 消防団員の確保及び装備の充実

（6） その他

① 大型で非常に強い台風19号が10月12日、県内に直撃。

ア 気象庁が長野など12都県の自治体に「大雨特別警報」を発表。

- ・ 大雨・洪水警戒レベルで最高の5に相当し、最大級の警戒避難を求めた。
- ・ 上田市では午後8時半時点で避難所44か所に計1088人が避難した。
- ・ 城下地区においても、初めて「避難指示」が発令された。

イ 避難状況確認のため役員が御所・諏訪形・小牧・中之条・千曲町の各避難
所先（公民館等）を巡回。

② 11月11日上田市長室 「台風19号災害に伴う今後の対応について」

ー上田市長へ要望書を提出ー

第8回城下地区防災訓練

資料 1

9月7日(土) 会場 城下地区防災センター駐車場及びホール



炎天下、土のう1袋約25キロの砂をスコップ等を使い160袋を作りました。

資料 2

訓練終了後、移動して防災センター大ホールでプロジェクターを使い防災対策の研修をしました。



飯田市視察研修

資料 3



飯田市危機管理室において、過去の大火、豪雨災害などの経験を経て防災意識の高く県内で先駆けて、地区防災計画が策定されたのでその研修を行いました。

地域づくり人材育成講座2019

資料 4

住民自治と防災の課題として、第1回から第5回までの研修会を6班に分けて、班ごとに意見交換を行いました。



第16号議案

令和元年度 城下地区防犯事業決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

会 長 小坂井正明

会 計 今井 洋幸

収入合計額	100,002円
支出合計額	13,000円
差引残高	87,002円

収入の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	前年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	87	備 考
繰越金	50,002	50,002		
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	100,002	100,002	0	

支出の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	前年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費		0	0	お茶
報償費		0	0	講師謝金
研修費		0	0	
交通費		0	0	
交際費		0	0	
印刷費		0	0	
活動費	50,000	0	△ 50,000	防災訓練等
役員手当	17,000	13,000	△4,000	役員（5名）
予備費			0	
業務委託費	33,002	0	△ 33,002	
合計	100,002	13,000	△ 87,002	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和2年4月4日

監事 古平 茂 (印)

監事 窪田 和人 (印)

令和２年度城下地区 防犯防災協議会役員

(敬称略)

役 職	氏 名	選 出 区 分	自治会
顧 問	宮下 省二	元城下地区自治会連合会長	諏訪形
名誉会長	中村 光廣	学識経験者（元上田市消防長）	諏訪形
会 長	小坂井正明	城下地区防犯防災協議会長	御 所
副会長	小林 久敏	諏訪形防犯・防災協議会長	諏訪形
副会長	手塚 博明	前南部消防署長（防災）	須 川
会 計	今井 洋幸	城下まちづくり未来会議会計	諏訪形
理 事	増澤 吉雄	城下地区社会福祉協議会長	中 村
理 事	小野澤義和	城下地区環境建設協議会長	中 村
理 事	大林 裕治	上田市危機管理防災課	御 所
理 事	川上 ^{マサノリ} 優徳	上田警察署川辺交番所長	吉 田
理 事	宮下 省二	消防団第六分団消防委員長	諏訪形
理 事	片岡 将史	消防団第六分団長	小 牧
理 事	手塚 三博	須川自治会長 (R2)	須 川
理 事	片岡誠一郎	小牧自治会長 (R2)	小 牧
理 事	細川 義雄	諏訪形自治会長 (R2)	諏訪形
理 事	渡邊 規夫	中村自治会長 (R2)	中 村
理 事	川口 博司	朝日ヶ丘自治会長 (R2)	朝日ヶ丘
理 事	中澤 史明	三好町自治会長 (R2)	三好町
理 事	田玉 治實	御所自治会長 (R2)	御 所
理 事	西沢 信義	中之条自治会長 (R2)	中之条
理 事	鋒城 康弘	千曲町自治会長 (R2)	千曲町
理 事	西入 信夫	小牧自治会長 (R元)	小 牧
理 事	手塚 正行	須川自治会長・城下地区防犯指導員副班長 (R元)	須 川
理 事	窪田 和人	諏訪形自治会長 (R元)	諏訪形
理 事	林 俊美	中村自治会長 (R元)	中 村
理 事	古平 茂	三好町自治会長 (R元)	三好町
理 事	岡部 昭男	御所自治会長 (R元)	御 所
理 事	中澤 照夫	中之条自治会長 (R元)	中之条
理 事	柴田 大八	千曲町自治会長 (R元)	千曲町
理 事	高澤 良平	城下地区防犯指導員班長	中 村
理 事	宮島 弘	城下地区防犯指導員副班長	小 牧
理 事	畠山 正幸	城下小学校校長	諏訪形
理 事	山邊 久史	南小学校校長	中之条
理 事	宮澤 好一	第四中学校校長	諏訪形
理 事	石橋 敬子	諏訪形女性防火クラブ隊長	諏訪形
監 事	田玉 治實	自治連監事・御所自治会長	御 所
監 事	鋒城 康弘	自治連監事・千曲町自治会長	千曲町

第17号議案

令和2年度 城下地区防犯防災協議会事業計画（案）

【参 考】 上田市25地区自治会連合会における設置状況について

（1） 防犯防災協議会（4地区）

①城下地区防犯防災協議会 （ 9自治会）

②神科地区防犯・防災協議会（16自治会）

③南部地区防犯・防災協議会（ 9自治会）

④豊殿地区防犯・防災協議会（16自治会）

1 城下地区防犯事業について

○ 活動スローガン

「地域のきずなで 安全・安心な まちづくり」

○ 重点推進事項

第1 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

第2 関係機関・団体と連携・協働した自主防犯活動の推進

第3 子ども・女性・高齢者等の安全対策の推進

（1） 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

① 川辺交番の協力を得て、各種広報・啓発活動の推進

・屋外放送施設の活用（6カ所）や自治会役員関係者や防犯指導員の皆様に防犯パトロールを依頼し、情報と防犯活動の連携を図る。

② 防犯研修会・出前講座等の開催による防犯意識の醸成

・9月7日（月）サントミューゼ大ホール「第6回上小地域の安全・安心まちづくり地域大会」

(2) 関係機関・団体と連携した自主防犯活動の推進

① 地域における自主防犯活動の推進

- 春の地域安全運動の実施 （ 4月 1日～30日）
- 夏の地域安全運動の実施 （ 7月 1日～31日）
- 全国地域安全運動の実施 （ 10月 1日～10月20日）
- 年末特別警戒活動の実施 （ 1 2月 1 5日～1 2月 3 1日）

② 城下地区防犯指導員の活動

- ・ 城下地区防犯指導員班長・副班長を中心とした防犯活動
- ・ 各自治会、地区防犯協会単位で防犯活動計画を策定し、推進を図る。

③ 城下地区社会福祉協議会と協働して「城下あいさつ・声かけ運動」の実施

- ・ 保育園、学校等を対象に年 3 回を予定

(3) 子ども、女性、高齢者等の安全対策の推進

① 子どもを犯罪から守る活動の推進（学校見守り活動の支援）

② 女性を犯罪から守る活動の推進

③ 少年健全育成活動・有害環境浄化活動の推進

- ・ 城下地区管内の防犯パトロールの実施
- ・ 有害環境浄化活動推進（駅前パトロール等）

④ 防犯灯の整備・充実

2 城下地区防災事業について

(1) 城下地区の防犯・防災についての充実と構築

① 城下地区防災計画の作成と配布

- ② 城下地区防災資機材等の調査（毛布等の保有状況）
 - ・ 城下地区防災センター、城南公民館及び各自治会の資材備蓄に関すること
 - ・ 小、中学校の備蓄に関すること
 - ・ 備蓄庫の設置に関する検討
- (2) 講演会(講習会等)及び防災訓練を通して、城下地域の安全で安心な地域づくり活動の推進
- (3) 災害時における応援体制の確立
 - ① 保育園、小、中学校の避難訓練の指導、助言
 - ・ 城下保育園、南小学校、城下小学校、第四中学校 避難訓練
 - ② 自治会間の防災の連携
 - ③ 自治会屋外放送及びサイレン設置の検討
- (4) 城下地区防災訓練等の実施
 - ① 自主防災組織による講習会及び訓練を通じて、地域の連帯意識の高揚を図る。
 - ② 第9回城下地区防災訓練・・・・・・・・・・・・・・・・令和2年9月中旬
 - ・ 訓練内容 「避難勧告」・「避難指示」発令に伴う情報伝達訓練（区民への周知）
 - ③ 城下地区小中学校避難訓練に参加・指導、助言
- (5) 視察研修・・・6月～11月（4回実施）
 - ・ 研修内容 令和元年10月12日、台風19号による被災地域の視察研修
 - ・ 研修場所 第1回 丸子、武石地域 第2回 真田町地域 第3回 長野市長沼地域
第4回 佐久市入沢地区ほか
- (6) 火災予防の啓発
 - ① 春の火災予防運動 3月1日～ 3月 7日
 - ② 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日
- (7) 上田市消防団第六分団消防委員会
 - ① 消防団員の確保と装備の充実
- (8) その他

令和2年度 城下地区防犯事業予算書(案)

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

会 長 小坂井正明
会 計 今井 洋幸

収入合計額	137,002円
支出合計額	137,002円
差引残高	0円

収入の部 (単位；円)△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	50,002	87,002	37,000	
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	100,002	137,002	37,000	

支出の部 (単位；円)△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
事業費	0	50,000	50,000	各自治会へ備品等の配布検討
役員手当	13,000	13,000	0	役員5名（正・副・会計・顧問）
予備費	0	74,002	74,002	
業務委託費	0	0	0	
合計	13,000	137,002	124,002	

令和元年度城下地区まちづくり協議会事業報告

1 経 過

城下地区では、平成23年6月「城下地区社会福祉協議会」同年10月「城下地区防犯・防災協議会」を設立、情報交換を行いながら城下地区で検討し実行する体制を構築して参りました。この流れに沿って、平成24年6月「城下地区まちづくり協議会」を設立、城下地区の課題を行政に対し要望してきました。この中で城下地区4団体で構成する「城下まちづくり会議」（仮称）の早期設置を要望してきた結果、平成28年3月住民自治組織設立のための準備会「城南まちづくり会議」が設立され、住民自治組織設立のための検討を重ねてまいりました。

その結果、城南地域における新たな住民組織については、城下地区、川辺・泉田地区それぞれで「新たな住民組織」を設立することとなりました。

将来的には一本化を妨げないこと及び共通課題があれば対応することを確認しました。

平成29年6月17日（土）『城下まちづくり未来会議』が設立され、城下地区4団体はその構成団体とし従来同様の活動をしてまいります。

なお、自治会長の任期が1年のため、継続した活動が難しいことから任期を2年とし、まちづくり協議会が城下地区の要望活動を主に行うことと致しました。

2 事 業

(1) 市・県・国等への要望について

① 城下まちづくり未来会議総会

令和元年 6月 15日（土） 城下地区防災センター

② 要 望

総会の席上、城下まちづくり未来会議（城下地区自治会連合会・城下地区社会福祉協議会・城下地区防犯・防災協議会・まちづくり協議会）の要望事項をとりまとめ国・長野県・上田市・上田市社会福祉協議会へ要望しました。

③ 回 答

10月12日～13日に台風19号が東日本を通過したことから災害が発生千曲川は、昭和34年以来の増水となり、市内各地では、他の河川等にも多大な被害が発生しました。

このため行政側からの説明会は急遽中止となりました。

④ 新規要望

11月11日市長へ台風19号に伴う今後の対応と城下地区水路計画の早期実現について要望を行いました。

結果

城下地区排水路設置について、令和2年3月4日議会にて回答、5年間で6億2千万円予定
令和2年度は1億7千万円の予定

(2) 東山城下地区メガソーラー設置反対期成同盟会について

過年経過

- ・平成29年4月1日付け「太陽光発電施設の適正ガイドライン」を策定・公表しました。
- ・平成30年9月3日、上田市長に法的拘束力のある条例制定について要望。
- ・平成30年10月5日、上田市長市内3ヶ所の(城下東山・長瀬金井・飯沼生田)の現地視察を行う。
- ・平成31年1月29日上田市「太陽光発電設備設置に関する条例検討有識者会議」を開催。
- ・6月上田市議会で「太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」が成立しました。
- ・平成31年3月30日(株)日本エコロジーが、現地2ヶ所へ計画看板設置

元年度活動

- ・「上田市太陽光発電設備の設置に関する条例」勉強会 60名出席
- ・令和元年8月1日から施行される。

(3) アスベスト健康被害対策委員会について

過年経過

- ・平成30年6月19日ワールド重機開発(株)と環境保全協定を締結
- ・平成30年11月10日環境保全協定に基づき第一回「健康シリーズ」講演会開催。
演題「出産前後の体調管理について」講師 上田市産婦人科院長 村田昌功様 参加者 15名

元年度活動

- ・令和2年1月26日第二回「健康シリーズ」講演会開催。
演題「乳幼児期の健康についての最近の話題から」講師
講師 堀こどもクリニック 堀俊彦様 参加者20名

(4) 新 規

①台風19号に伴う今後の対応と城下地区水路計画の早期実現について

- ・令和元年11月11日上田市長あてに13項目の要望書を提出しました。 参考資料-2(写)
- ・工事 説明会は、令和2年2月19日(水)午後6時30分～ パレオ2階会議室で開催されました。

参考資料-3(写)

参考資料-1

【平成23年度】～【令和元年度】 要望箇所で完了及び一部完了箇所について

長野県関係(上田建設事務所)

- ・主要地方道長野上田線(旧143号) 都市計画道路の促進 (H24～)
三好町1丁目交差点から625mについては、**H29年度完成しました。**
青木村側赤坂交差点迄の約460mについては、用地補償進めている(進捗90%)。
- ・県道上田塩川線 諏訪形地籍の道路改良の促進 (H23～)
須川側250mは完成。上田側金窓寺交差点迄の510mについては、26年度地元説明会、用地測量を実施。H27年度9割余用地買収完了。H28年度L=100m工事完成
H29年度L=150m完成向け進めています。
H27年度旧丸子町側舗装工事L=500m実施

長野県関係(上田地域振興局)(上田市土地改良課)

- ・須川湖の築堤部の調査診断と結果について (H24～)
H25年度に耐震調査を実施、結果をH26年9月29日地元須川自治会関係者へ
10月30日城下地区4団体役員に説明、H27年度測量調査設計。H28工事発注・完成
- ・金窓寺川の谷止工H27年9月完成
- ・須川池堤体護岸補強工事、漏水対策工事

上田市(土木課関係)

- ・市道三好町上田原線(城南医院付近より御所中之条境)迄のグリーンベルトの施工
- ・市道御所2号線(城下地区防災センター横から旧143)迄のグリーンベルトの施工
- ・市道諏訪形小牧線(ヘアーサロンスワガタから小牧)へのグリーンベルトの施工
- ・市道三好町上田原線(中川酒店より東側)、の歩道整備完了
- ・市道神畑原峠線L=1,500m完成
- ・市道上田丸子線小牧橋～信州名鉄様間L=630m
- ・市道諏訪形1号線、他へのグリーンベルトへの施行

上田市(学校関係)

- ・南小学校校庭傷んだ遊具の取り替え・新設、校門前信号機待ちスペースの確保等
- ・四中剣道場床補修、校庭ホームベース付近東側防球ネット嵩上げの施工、他
- ・城下小へ緊急時対応の排水ポンプ設置、二階渡り廊下の防御シート交換
- ・四中技術科棟、屋内体育館、プール等計画に基づき工事完了

上田市(関係各課)・団体等

- ・防犯灯のポール老朽化にともなう補助制度が制度化されました。
- ・城下地区全域の防災対策としての防災マップ作成。城下地区雨水対策への排水路計画の基礎となる業務委託が発注された。
- ・平成24年11月16日から9自治会へ回覧で周知していますが、関係各課前向きに検討されています、要望事項により経費の関係で年数を要するものも多く、また他機関管理者の許可手続き・地権者の同意等複雑な事情が関係していることから、今後も継続して要望して行くことが実現へ向け大切なことと思います。

報 告

令和 2年度 城下地区環境建設協議会役員

(敬称略)

役 職	氏 名	選 出 区 分	自治会
顧 問	小坂井 二郎	城下まちづくり未来会議顧問	中之条
顧 問	宮 下 省 二	城下まちづくり未来会議相談役	諏訪形
会 長	小野澤 義 和	学識経験者	中 村
副 会 長	中 澤 照 夫	城下地区自治連会長 (R元)	中之条
副 会 長	西 入 直 喜	学識経験者	小 牧
副 会 長	橋 爪 一 壽	交通安全協会城下支会長	千 曲 町
理 事	増 澤 吉 雄	城下地区社会福祉協議会長	中 村
理 事	小坂井 正 明	城下地区防犯防災協議会会長	御 所
理 事	相 田 賢 治	六か村堰土地改良区理事長	諏訪形
理 事	手 塚 博 明	城下地区防犯防災協議会副会長	須 川
理 事	宮 下 省 二	第6分団消防委員長	諏訪形
理 事	柳 澤 登美男	学識経験者	中 村
理 事	海 野 寿美子	団体推薦	千 曲 町
理 事	西 入 信 夫	城下地区自治連 (R元)	小 牧
理 事	手 塚 正 行	城下地区自治連 (R元)	須 川
理 事	窪 田 和 人	城下地区自治連 (R元)	諏訪形
理 事	林 俊 美	城下地区自治連 (R元)	中 村
理 事	古 平 茂	城下地区自治連 (R元)	三好町
理 事	岡 部 昭 男	城下地区自治連 (R元)	御 所
理 事	柴 田 大 八	城下地区自治連 (R元)	千曲町
理 事	片 岡 誠一郎	城下地区自治連 (R2)	小 牧
理 事	手 塚 三 博	城下地区自治連 (R2)	須 川
理 事	細 川 義 雄	城下地区自治連 (R2)	諏訪形
理 事	川 口 博 司	城下地区自治連 (R2)	朝日ヶ丘
理 事	渡 邊 規 夫	城下地区自治連 (R2)	中 村
理 事	田 玉 治 實	城下地区自治連 (R2)	御 所
理 事	中 澤 史 明	城下地区自治連 (R2)	三好町
理 事	西 澤 信 義	城下地区自治連 (R2)	中之条
理 事	鋒 城 康 弘	城下地区自治連 (R2)	千曲町

第20号議案

令和2年度城下地区環境建設協議会事業計画（案）

1 協議会名称変更について

- (1) 協議会名称変更 城下地区まちづくり協議会 ➡ 城下地区環境建設協議会
別添新会則

2 市・県・国への要望について

(1) 要望期日

令和2年6月20日(土)……城下地区防災センター

(2) 要 望

城下地区9自治会の要望事項をまとめて行政等(市・県・国・市社会福祉協議会)へ要望する。

(3) 要望の集約

- ・ 4月22日(水) 9自治会からの要望事項の提出
- ・ 5月 7日(木)～8日(金)要望箇所の現地調査
- ・ 5月16日(土) 協議検討の上、要望事項を集約してまとめる。

(4) 説 明 会

要望事項に対する行政への説明会は、必要により7月中に開催し、現地立ち合いを行う。

(5) 回 答

市等からの回答内容の説明を頂くため10月13日(火)に開催予定。

(6) 報 告

11月16日付け城下地区9自治会へ回覧で報告する。

(7) 今後の対応

事業の進捗状況を随時確認して、次年度要望に反映できるよう努める。

3 第三回「健康シリーズ」講演会

- ・第一回平成30年11月19日開催、第二回令和2年1月26日開催
- ・令和2年度 第三回「健康シリーズ講座」を開催する予定。

4 「信州上田学」講演会の開催

- ・住みやすい上田のまちづくりを目指し、上田市が提唱している「信州上田学」について、第2回講演会を7月頃に開催する予定。
- ・上田原合戦の歴史を地元の人達に伝承する事業 第四中学校 7月実施予定

上田市長 土屋陽一 様

城下まちづくり未来会議
会 長 沓掛勝也

台風19号に伴う今後の対応と城下地区水路計画の早期実現について(要望)

千曲川は、台風19号により昭和34年の伊勢湾台風以来の増水となり、堤防を越水する等被害が発生しましたが、城下地区では堤防決壊という最悪の事態は避けられました。

この間、国・県・市の多大なご尽力に対し心から御礼を申し上げます。

また、市災害対策本部は、自治会からの被害対応を迅速に進められ感謝申し上げます。

さて、私達は今台風から多くの教訓を得ました。城下地区では、江戸時代から幾多の災害を乗り越え、先人達の熱い思いをかてに町づくりを進めてきました。千曲川堤防決壊の危機は伊勢湾台風以来であり、いずれも諏訪形地籍であります。東山からの雨水等の流入により金窓寺川沈砂池が、平成17年以降3回目の氾濫となり、私達の力ではなすすべもありませんでした。

つきましては、全国へ放送された千曲川諏訪形堤防及び別所線の早期復旧と市の実施計画に搭載された城下地区水路計画の早期実現に最大限のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- (1) 千曲川諏訪形堤防の早期復旧と地元説明会をお願い致します。
- (2) 千曲川中央部の堆積土の除去（小牧～千曲町）
- (3) 千曲川河川敷内の樹木伐採など氾濫防止対策の検討をお願い致します。
- (4) 堤防法面の樹木について ……立ち木は増水により振動することで堤防法面に亀裂が生ずる原因となるため、堤防維持管理の検討をお願い致します。
- (5) 堤防の水位計について ……千曲川に関する情報で水位が表示されるが、堤防天端まであと何Mとした方が判り易いので、検討をお願い致します。
- (6) 菅平ダム等の緊急放流について ……増水時の計画的な放流を行うことで下流域への増水を調整するための緊急放流の検討をお願い致します。
- (7) 上田電鉄別所線の早期復旧をお願いいたします。
- (8) 河川敷グラウンドの早期復旧をお願い致します。
- (9) 県道上田塩川線が金窓寺川と交差する地点の道路改良工事をお願い致します。
- (10) 避難所等への情報について ……情報を住民に速やかに伝えるためケーブルテレビ導入に伴う引き込みみ経費及び受信料の減免等の検討をお願い致します。
- (11) 金窓寺川及び御所沢沈砂池の早期改良及び新設工事をお願い致します。
- (12) 城下地域内の災害箇所について早期の復旧をお願い致します。
- (13) 原峠保養園への道路改良工事をお願い致します。

新会則

城下まちづくり未来会議 城下地区環境建設協議会会則(案)

(名称及び事務所)

第1条 本会は、「城下地区環境建設協議会」(以下「本会」という)と称し、事務所を上田市諏訪形1160番地2
信州うえだ農業協同組合上田西支所城下店内に置く。

(目的)

第2条 本会は、城下地区の健全な発展と活力ある地域づくりに向けて継続性を確保し、城下地区の
振興に寄与することを目的とする。

(会員及び組織)

第3条 本会は、城下地区9自治会と目的に賛同する各種団体等をもって組織する。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 城下地区の安全・安心な町づくりの推進に関すること。
- (2) 城下地区の活性化に関すること。
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(役員及び任期)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- | | |
|---------|-----|
| (1) 会 長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 若干名 |
| (3) 理 事 | 若干名 |

2 副会長の内1名は、自治会連合会より選出し、他の自治会長は理事の任にあたる。

3 役員の任期は2年として再任を妨げない。

(役員の選任)

第6条 役員の選任は次による。

- 2 会長及び監事は、理事の互選により選出するものとする。
- 3 副会長は、会長が理事の中から指名により選出するものとする。

(役員の任務)

第7条 会長は、本会を統括する。副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代理する。

- 2 理事は、役員会に参画し、本会の審議及び運営にあたる。

(顧問)

第8条 本会に、顧問をおくことができる。顧問は理事会において決定し会長が委嘱する。

(会議)

第9条 本会の会議は、総会、理事会、専門部会とする。

- 2 総会は会長が召集し、年1回開催する。ただし会長が必要と認めた場合は、臨時に総会を開催することができる。議長は総会において選出する。
- 3 理事会、専門部会は必要に応じて開催する。
- 4 理事会、専門部会の議長は会長をもって充てる。
- 5 会議は過半数の出席者をもって成立し、議事は出席者の過半数で決する。可否同数の場合は、議長がこれを決する。
- 6 緊急の場合は、理事会をもって総会に代えるが、次の総会において報告する。

(決議事項)

第10条 次の事項は、総会の決議を要する。

- (1) 事業計画及び事業報告
- (2) 予算及び決算
- (3) 会則の制定及び改廃
- (4) その他必要とする事項

(会計年度)

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり3月31日に終わる。

(経費)

第12条 本会の経費は、補助金、会費、その他の収入をもってあてる。

(補則)

第13条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、理事会において別に定めることができる。

附 則

- 1 この会は平成24年 6月 24日より施行する。
- 2 平成29年6月17日一部改定
- 3 この会則は令和2年 4月 1日より施行する。

(写)

千曲川堤防復旧工事等 工事説明会 次第

日時 令和2年2月19日(水)18時30分

場所 上田駅前ビルパレオ 2階会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 出席者紹介

4 議 題

(1) 千曲川堤防復旧工事について（千曲川河川事務所及び宮下組・栗木組）

(2) 別所線千曲川橋梁等災害復旧工事について（上田市交通政策課及び上田電鉄）

(3) 堤防道路復旧工事について（上田市土木課）

(4) ニヶ村堰工事について（上田市土地改良課）

(5) 諏訪形グラウンド工事について（上田市スポーツ推進課）

5 質疑・応答

6 そ の 他

7 閉 会

本日の行政出席者

国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所

副所長 吉田 俊康、工務課長 江口 斉、

戸倉出張所長 近藤 敏

上田市 都市建設部長 藤澤純一

土木課：三浦哲夫（課長）、山浦勝明（係長）、堀昭広（担当）

交通政策課：竹内繁弘（課長）、山田晃一（係長）

土地改良課：田中義明（課長）、井出史亮（係長）、小宮健（担当）

スポーツ推進課：池田清純（課長）、羽毛田裕介（係長）

諏訪形地区堤防緊急復旧工事



令和元年10月14日状況
(台風19号被災状況)



令和元年11月3日状況
(堤防緊急復旧状況)

発注者：国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

受注者：株式会社 宮下組

受注者：株式会社 栗木組

工事概要

工事名：諏訪形地区堤防緊急復旧（その１・その２）工事
堤防復旧延長 L=340m

発注者：国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所
TEL026-227-7611

受注者：株式会社 宮下組（その１工事）
TEL0268-22-0271

受注者：株式会社 栗木組（その２工事）
TEL0268-34-7666

別所線千曲川橋梁等災害復旧工事

2020年 2月19日

発注者：上田市

受注者：上田電鉄株式会社

被災前後の写真

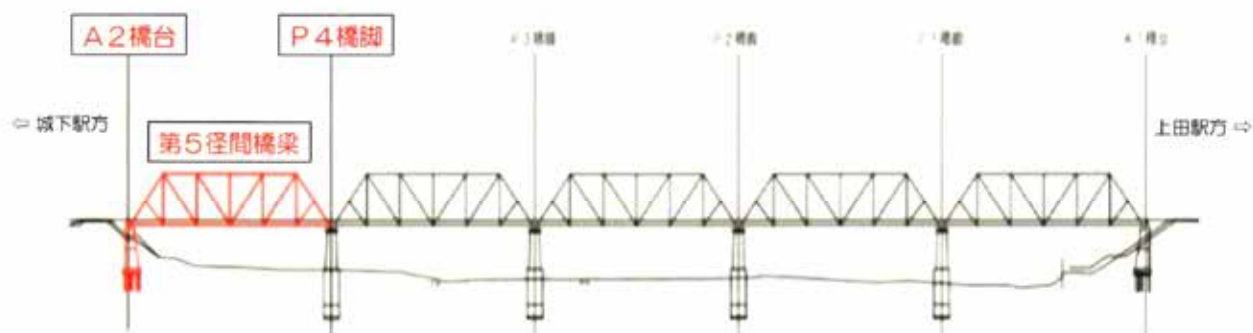
被災前



被災直後



被災の詳細内容



- ①A 2 橋 台：堤防欠損に伴い流失
- ②第5径間橋梁：橋台流失に伴い落橋
- ③P 4 橋 脚：河床低下による洗堀

現在の進捗状況 (2020年 2月10日時点)



落橋した第5径間の橋梁撤去がほぼ完了